

2020年11月17日

アサヒ飲料、キリンビバレッジ 非競争分野における協業を拡大
アサヒ飲料直販部門における自動販売機修理業務の協業を
中部・近畿圏・九州の3エリアへ拡大

アサヒ飲料株式会社
キリンビバレッジ株式会社

アサヒ飲料株式会社（社長 米女太一）とキリンビバレッジ株式会社（社長 堀口英樹）は、2018年9月より展開を実施しているアサヒ飲料直販部門における自動販売機修理業務の協業を中部・近畿圏・九州の3エリアへ拡大します。

アサヒ飲料(株)の子会社で自動販売機事業を担うアサヒ飲料販売株式会社（社長 遠藤玄一郎）が管理する自動販売機の現地修理業務について、2018年9月よりキリンビバレッジ(株)の子会社で自動販売機のメンテナンス業務を担うキリンメンテナンス・サービス株式会社（社長 野村浩）へ業務委託し、神奈川エリアでテスト展開を実施しました。その後、2019年9月より展開エリアを東京都、千葉県、埼玉県、茨城県を加えた1都4県に拡大してきました。

この度、両社ともに協業による成果が確認できたため、2021年1月より、アサヒ飲料販売(株)および九州での自動販売機事業を担う九州アサヒ飲料販売(株)（社長 坂本孝幸）が管理するアサヒ飲料自動販売機の修理協業へと展開エリアを順次拡大します。

アサヒ飲料販売(株)では、ルート担当者が担っていた現地メンテナンス作業を1人当たり月間2.4時間削減することにより自動販売機オペレーション業務の効率化が確認されました。これにより売り切れロスの低減、サービスレベルの向上といった効果がありました。

キリンメンテナンス・サービス(株)では、自動販売機メンテナンス作業件数が増加したことで移動時間が短縮され、従来に比べ、移動時間を含む1件当たりの平均処理時間が約5%削減、また、1日あたりの作業件数が約10%増加しました。今回の首都圏エリアでの協業展開により、高度なメンテナンス技術を活用・拡大することで、業務効率の向上につながっていることが確認されました。

アサヒ飲料(株)とキリンビバレッジ(株)は、非競争領域の協業によって、持続可能な社会の実現への貢献を目指すとともに、清涼飲料業界の発展に取り組みます。